

第2章 豊橋鉄道

第1節 旅プラン

平成26年のこだわり鉄道つたい歩きは、次の4泊5日に日程で、紀勢本線等に挑戦する。

- (1) 3月20日(木)
鳥羽まで電車で行き、鳥羽～伊勢市(14.1km)を歩く。
東横イン松阪泊
- (2) 3月21日(金)
二木島まで電車で行き、二木島～新宮(33.4km)を歩く。
新宮ユアアイホテル泊
- (3) 3月22日(土)
二木島まで電車で行き、二木島～九鬼(12.4km)を歩く。
九鬼から松阪まで電車に戻り、東横イン松阪泊。
- (4) 3月23日(日)
伊勢市まで電車で行き、伊勢市～松阪(22.9km)を歩く。
東横イン松阪泊
- (5) 3月24日(月)
鳥羽まで電車で行き、伊勢湾フェリーで伊良湖へ。そこからバスで三河田原まで移動。三河田原～植田(11.7km)を歩く。

第2節 旅日記(三河田原～植田)

<1日目から4日目>

紀勢本線のため割愛

<5日目:3月24日(日)> 快晴

昨夜急遽、豊橋鉄道踏破に思いつく。すなわち、鳥羽から伊良湖岬に伊勢湾フェリーで渡り、そこからバスで三河田原まで行き、そこから11.7km先の植田まで歩くコースである。それ故、伊勢湾フェリーや豊橋鉄道を調査する。伊勢湾フェリーは始発が8時10分、2便が10時50分。また、豊橋鉄道の営業キロについても、次の通り調査する。

田原 18.0	神戸 17.1	豊島 15.6	やぐま台 14.0	杉山 12.7
老津 10.7	大清水 8.5	向ヶ丘 7.1	植田 6.3	

豊橋からの電車

豊橋 16:00 → 浜松 16:33

浜松 16:36 → 熱海 19:14

熱海 19時27分 → 藤沢 20:29

松阪からの電車

松阪 5時20分 → 多気 5時31分

多気 5時46分 → 鳥羽 6時25分



汽笛亭

松阪駅

目覚まし時計を3時50分にセットして、就寝につく。時間通り、3時50分、目覚ましがなる。もし、モーニングコールしていないと3時50分には起きていないだろう。睡眠時間は短かったが熟睡できる。早速、チェックアウトの準備をする。このシリーズ、朝シャンというか朝風呂に入り、心身共に清め鉄道踏破に挑んだ。昨夜買った、菓子パンを朝食として、ホテルを5時チェックアウトし、21日、新宮に向かった電車と同じ電車で挑む。駅前の宣長まつりをデジカメに収め、松阪駅へ。



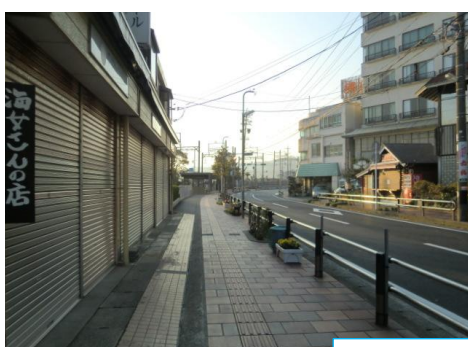
昨日、夕食で利用した汽笛亭もデジカメに収める。5時20分松阪始発の電車は、1番ホームの後方に2両編成で停車していた。5時10分頃、20m位動く。青春18きっぷ5

枚目にスタンプを押してもらい、乗車する。多気駅で乗り換えする。多気駅で先頭に2両連結して4両編成となった電車は、5時44分、新宮に向かって発車する。5時46分発多気始発1両編成(ワンマンカー)で鳥羽駅に向かう。始発の電車は、田丸まで乗客は私一人であった。田丸駅で3~4人の乗車がある。宮川駅で朝日を拝顔する。初日と4日目に歩いた道のを楽しみながら鳥羽駅へ。鳥羽駅には6時25分到着。2階の近鉄線乗り場の観光案内所でお土産を購入。駅で朝の鳥羽駅をデジカメに収めて、伊勢湾フリーの乗船場に向かう。6時41分、赤福の看板があった。鳥羽港までの風景は最高であった。2番目の信号を左折する。橋桁に絵画があったのでデジカメに収める。6時44分、鳥羽港めぐり観光船案内所前を通過。ここで、伊勢湾には初めて数個の小島(答志島、菅島、神島等)があることを知る。6時46分、右手に近鉄賢島線の電車を捉える。6時47分、伊勢湾フェリーの乗船場が橋から見えて来る。その先にアシカがお腹を出している像があった。6時52分、鳥羽水族館前に到着。その先に伊勢湾フェリー乗り場(6時56分)があった。伊良湖までの始発は8時10分、乗り場への案内は7時35分頃とのことだったので、それまで30分位時間があつたので、鳥羽港を散策する。



車中より

鳥羽駅



鳥羽港への路



※鳥羽港への路

7時40分、フェリー乗り場2階で乗船券を購入する。豊橋まで、船・バス・電車で2,000円であった。伊良湖までの運賃は1,500円なので、500円位は割安であった。カウンターで聞いてよかった。この割安情報は、肥薩おれんじ鉄道以来である。ビル内で鳥羽丸や伊勢丸をデジカメに収める。8時、鳥羽丸の乗船案内がある。フェリーに乗船するのは、昨年4月の桜島フェリー以来。フェリー内は桜島フェリーと似ていた。



鳥羽港



伊勢湾フェリー館内

8時10分出航で、55分の乗船時間であった。アナウンスで答志島2,800人、菅島800

人の住人が住んでいたとのこと。神島についても説明がある。船からの鳥羽港、伊良湖の眺めは最高であった。平成 22 年 7 月 24 日（日）に微か向うに見えた鳥羽港が本日の乗船でつながった。価値ある選択であった。伊良湖岬には 9 時 5 分到着。10 分の待ち合わせで、豊橋バスが待っていた。運転手さんに聞くと、豊橋着は 10 時 17 分とのことであった。4 年前の第 39 回わいわい会が懐かしく感じられた。駅前の風景を中心に時々見覚えのある風景が時々登場したので。



船内

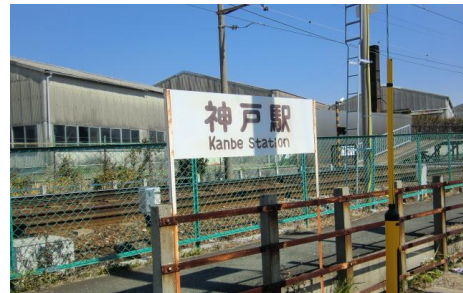
鳥羽～豊橋(フェリー)とバス・電車 乗継時刻表					
鳥羽 → 伊良湖	待時間	伊良湖 → 豊橋	お得な通し乗船券		
8:10 → 9:05	★0:10	9:15 → 11:01	大人 2,000円		
9:30 → 10:25	1:10	10:15 → 12:01	小人 1,000円		
10:50 → 11:45	0:48	11:33 → 13:19	※伊良湖～豊橋間(伊良湖岬)は前乗り乗継		
12:10 → 13:05	0:28	12:33 → 14:19	※伊良湖～豊橋間(伊良湖岬)は前乗り乗継		
	1:28	13:33 → 15:19			
		14:33 → 16:19			
鳥羽 → 伊良湖	待時間	伊良湖 → 田原駅前	三河田原 →	渥美線	
鳥羽発 13:40以降の乗船の場合は、田原駅でバスから電車に乗り換えが必要です					
13:40 → 14:35	1:13	15:48 → 16:37	16:47		
15:10 → 16:05	0:43	16:48 → 17:39	17:47		
		17:48 → 18:39	18:47		



伊良湖



三河田原駅



神戸駅

三河田原(10:17)～神戸(10:51)～豊島(11:17)～やぐま台(11:56)～
杉山(12:17)～老津(おいつ、12:58)～大清水(13:45)～
向ヶ丘(14:17)～植田(14:39)

予定通り、豊橋鉄道の三河田原駅には10時17分に到着。懐かしい三河田原駅をデジカメに収めて、900m先の神戸駅(かんべ)を目指す。駅員さんに神戸駅の道筋を聞いて臨む。川が絡み難しいと思ったからだ。電車は桜模様の電車が、三河田原駅に停車していた。10時29分、20歩の桜橋を渡る。暫く遊歩道を歩き、45歩あるふれあい橋(10時32分: 海拔3.3m)を渡る。工事中であった。神戸駅には10時51分到着。この駅に到着する少し前、3両編成の電車が離合していた。11時2分、踏切を横切り、鉄道の左側に。林が茂る道筋を歩く。11時17分、八柱神社があった。その目と鼻の先に、豊島駅(としま: 11時17分)があった。鉄道に沿って歩く。11時37分、杉山10号踏切辺りで上り電車がやってくる。なお、豊橋鉄道は10種類の花の名がつく車両とのことであった。



豊島駅

桜 (1809号)、つつじ (1803号)、ばら (1801号)、
菊 (1810号)、菜の花 (1807号)、しでこぶし (1806号)、
椿 (1808号)、ひまわり (1804号)、菖蒲 (1805号)、
はまぼう (1802号)

11時47分、岩崎神社前を通過。沿線の桜並木はつぼみの状態。11時48分、キャベツ畑前を通過。11時49分、右手に豊橋鉄道を見ながら歩く。11時56分、やぐま台駅に到着。



やぐま台駅 杉山駅

ここから、1.3 km先の杉山駅にかけ、下校中の中学生と対面する。沢山の中学生から挨拶される。非常に感動する道中であった。12時11分、赤と青の電車が停車している杉山駅を視界に捉える。12時17分、杉山駅に到着。12時25分、春爛漫のカラフルな花畑前を通過。12時34分、海拔3mの豊橋市を通過。37歩ある境橋(紙田川)を通過。



老津駅

12時58分、老津（おいつ）駅到着。この辺りは海拔6mであった。鉄道に沿って桜並木が続く。ここから2.2km先の大清水駅にかけ、ビニールハウスが続き、迂回を余儀なくされる。「元気だよ 桜咲かすぞ 老津かな」 13時13分、踏切を横切り、鉄道の右側に。13時22分、キャベツ畑を通過。この辺りは鉄道に沿ってビニールハウス村であった。ビニールハウスには茄子の栽培がされていた。13時26分、迂回した路から鉄道に近づく路へ。そして、道なりに歩いた先に大清水駅（おおしみず：13時45分）があった。



大清水駅



向ヶ丘駅

この駅は豊橋鉄道の真ん中位にあった。13時57分、豊橋市大清水地区体育館前を通過。14時3分、高速道路下を越える。14時11分、踏切を横切り、鉄道の左側に。14時17分、向ヶ丘駅に到着。電車がやって来る。14時18分、植田6号踏切を横切り、鉄道の右側へ。14時23分、踏切を横切り鉄道の左側へ。14時30分、豊橋市立南陵中学校前を通過。そして、平成22年7月23日（土）に見覚のある素盞鳴（すさの）神社前を通過。この神社の呼び名がわからないため、近くで畑を耕していた人にお伺いしてわかる。その先に植田駅（14時39分）があった。



懐かしい神社



植田駅



終着駅の植田駅 豊橋駅



走れば、電車（桜号）にあったかもしれないが、1本遅らせることにする。仕上げをしたかったからだ。14時52分、椿号で豊橋駅へ。8時から21時までは15分間隔でダイヤが組まれていた。芦原駅で離合（ひまわり号）する。豊橋駅には15時12分到着。駅構内のCaféDanmarkで軽食とする。15分位休憩。



豊橋駅

豊橋 15 時 41 分の電車で自宅へ。豊橋駅で横浜在住の中野菊栄（さかえ）さん、戸塚在住の新井朝子（ともこ）さんと藤沢までご一緒させて頂く。非常に充実した時間を費やすことができる。お二人は私と同様、青春 18 きっぷと東横インを活用し、4 泊 5 日で岡山駅を基点に尾道、呉、赤穂等を旅行したとのことであった。浜松からは、次の通り、電車を乗り継いで藤沢まで移動する。

浜松 16 時 36 分 → 熱海 19 時 14 分

熱海 19 時 27 分 → 藤沢 20 時 29 分

自宅には、21 時 38 分到着。本日の営業キロは 11.7 k m、万歩計は 23,214 歩だった。5 日の営業キロは 94.5 k m で先ず先ずの成果を上げることができ大いに満足。これで、名古屋＝鳥羽間がつながる。また、わいわい会で中途半端で終わっていた豊橋鉄道が、今回の歩きで豊橋＝三河田原（18 k m）がつながり満足。加えて、新宮＝多気間も何となく近い将来できるとの自信を深め、大いに収穫があるシリーズであった。